

# 1 都市基盤

### 施策の展開方向

#### ■ 交通網の整備

- ・ 広域幹線道路および市内幹線道路の整備を促進します。
- ・ 市街地の混雑解消および市民生活に密着した人に優しい道路を整備します。
- ・ 山間部から市街地への交通の利便性向上を目的とした道路を整備します。
- ・ 橋梁長寿命化修繕計画に基づいて、橋梁を補修し、安全性の向上および機能回復を行います。
- ・ 路線バスや循環バスなどの運行方法について、生活の足としてより使いやすくなるよう調査・検討に取り組みます。
- ・ JR長崎本線の利便性の維持、向上の要望を行います。また、将来の上下分離方式により生じる利便性の低下を最小限に抑えるために、早い段階からその対応策の検討に着手します。

#### ■ 中木庭ダム周辺整備と施設の利用者増を目的とした活性化策を検討します。

#### ■ 市街地等の整備

- ・ 魅力的で利便性の高い生活空間と、安心でにぎわいの広がる市街地の形成を目指します。
- ・ 広域幹線道路（有明海沿岸道路・国道498号等）の整備動向をみながら、農村環境と調和した土地利用の調査・研究に取り組みます。
- ・ 肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備に取り組みます。
- ・ 市民活動拠点「中川エリア」の整備推進に取り組みます。

#### ■ 住宅の整備

- ・ 良好な住環境を構築し地域住民の生活支援のため、住宅のユニバーサルデザイン化を促進します。
- ・ 健康で文化的な生活を営むことができるよう、住宅を整備し、市営住宅の供給を図ります。

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

### ■ 定住対策の整備

- ・ U I J ターン<sup>\*</sup>や本市居住希望者の定住促進のための空き家情報提供など空き家バンク制度の普及に取り組みます。
- ・ 居住の安定や定住促進<sup>\*</sup>のため、子育て世帯向け住宅の供給を図ります。

## 主要施策

- 1 有明海沿岸道路<sup>\*</sup>（福富・鹿島間）の早期事業着手と延伸計画（鹿島市から諫早市）の要望
- 2 国道498号の走行性の高い道路への整備要望
- 3 国道207号バイパスへアクセスする市道の交通形態の解析と在り方の検討
- 4 市道認定をしている国・県道7路線について、条件整備の確認と移管を実施
- 5 西牟田地区（商業地）の混雑解消を目的とした道路の整備
- 6 人に優しい道路の整備とバリアフリー化<sup>\*</sup>の促進
- 7 辺地道路整備事業中川内・広平線の整備
- 8 予防的な修繕が必要である橋梁について補修工事を実施
- 9 公共交通体系全体の調査と地域公共交通網形成計画<sup>\*</sup>の策定、実施
- 10 JR長崎本線の利便性の維持確保・向上の要望
- 11 九州新幹線長崎ルート開通後の利活用策の研究
- 12 辺地対策事業第2期中木庭ダム周辺整備
- 13 中木庭ダム周辺施設のPR、地域を含めたイベント等の実施
- 14 肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備
- 15 中川エリア<sup>\*</sup>周辺のバリアフリー化<sup>\*</sup>を含めた道路の整備
- 16 都市公園の再整備（中川公園を防災活動拠点として整備）・都市公園遊具の充実
- 17 都市緑化の推進（花と緑を育てる市民運動の拡大）
- 18 まちなか案内板の設置
- 19 景観まちづくり学習<sup>\*</sup>活動の推進
- 20 住宅のユニバーサルデザイン<sup>\*</sup>化の促進
- 21 公営住宅等長寿命化計画<sup>①</sup>に基づく市営住宅の整備
- 22 新規市営住宅の整備
- 23 子育て世帯向け地域優良賃貸住宅<sup>\*</sup>の整備
- 24 市営住宅跡地の利活用の推進

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、\*マークは用語解説に説明あり。

## 目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
5	西牟田地区(商業地)の混雑解消を目的とした道路の整備	平成32年度完了
6	人に優しい道路の整備とバリアフリー化※の促進	平成32年度 15路線完了 段差解消 1路線/年 カラー舗装 2路線/年 計 3路線/年
8	予防的な修繕が必要である橋梁について補修工事を実施	平成32年度 6橋完了
9	公共交通体系全体の調査と地域公共交通網形成計画※の策定、実施	地域公共交通網形成計画※の策定 平成28年度策定
12	辺地対策事業第2期中木庭ダム周辺整備	平成29年度完了
14	肥前鹿島駅舎および駅前広場の整備	平成32年度着手
15	中川エリア※周辺のバリアフリー化※を含めた道路の整備	平成30年度着工
16	都市公園の再整備(中川公園を防災活動拠点として整備)・都市公園遊具の充実	平成32年度完了
18	まちなか案内板の設置	平成32年度完了
20	住宅のユニバーサルデザイン※化の促進	100戸/5年間
22	新規市営住宅の整備	平成30年度完了
23	子育て世帯向け地域優良賃貸住宅※の整備	平成30年度完了
24	市営住宅跡地の利活用の推進	2跡地の売却



市内循環バス



JR肥前鹿島駅

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

## 2 生活環境

### 施策の展開方向

- 安全でおいしい水を安定的に供給するために、企業経営の健全化に努め、水道施設の計画的な整備・更新を進めます。
- 上下水道部門を鹿島新世紀センターに移転することにより、市民サービスの向上に努めます。<sup>\*</sup>
- 公共下水道整備事業の促進と各種個別汚水処理施設事業の推進により、市内全域の生活環境改善および美しい水環境の維持に努めます。
- 下水道施設の計画的な整備・更新を行うことで安定した汚水処理に努めます。
- 資源循環型社会を構築できる環境都市を目指します。<sup>\*</sup>

### 主要施策

- 1 水道資産更新計画（アセットマネジメント）<sup>\*</sup>による中長期財政計画の策定
- 2 水道施設の計画的な整備・更新
  - ①配水管の更新
  - ②新久保山配水池の築造
- 3 災害時の情報共有と迅速な対応による防災体制の強化
- 4 上下水道部門の窓口集約による市民サービスの向上
- 5 水道庁舎の利活用推進
- 6 公共下水道事業の見直しおよび新整備手法による整備促進
- 7 下水道施設の長寿命化計画の策定および整備・更新
- 8 水質汚濁防止のための浄化槽の設置推進
- 9 し尿の計画収集と適切な処理の徹底
- 10 地元自治会と連携した確実な資源物回収の徹底

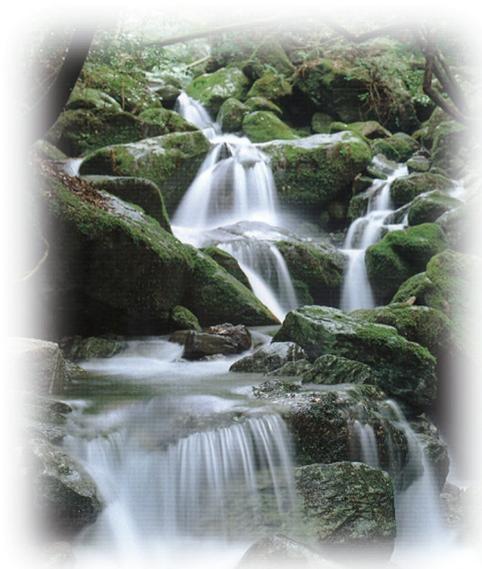
■文中①マークは資料編個別計画の概要に、\*マークは用語解説に説明あり。

- 
- 11 3R運動※推進によるごみの減量化・再資源化の実施
- 
- 12 生ごみ堆肥化を図るための「生ごみ分別収集」実施
- 
- 13 生ごみの飼料化に向けた研究
- 
- 14 ごみステーションの適正管理とごみ出しマナーの徹底
- 
- 15 市民・事業者との協働による計画的な清掃活動の実施
- 
- 16 不法投棄対策の啓発活動・監視カメラの設置・巡視パトロールの強化
- 

### 目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
1	水道資産更新計画(アセットマネジメント)※による中長期財政計画の策定	平成32年度完了
2	水道施設の計画的な整備・更新 ①配水管の更新 ②新久保山配水池の築造	年間1,000m更新 平成31年度完了
6	公共下水道事業の見直しおよび新整備手法による整備促進	下水道供用開始世帯数 平成26年度末 3,879→4,520
7	下水道施設の長寿命化計画の策定および整備・更新	平成28年度計画策定 平成29年度より整備・更新実施
8	水質汚濁防止のための浄化槽の設置推進	400基/5年間
12	生ごみの堆肥化を図るための「生ごみ分別収集」実施	収集世帯数 1,000世帯/5年間



多良山系の豊かな水

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

# 3 自然環境

## 施策の展開方向

- ラムサール条約<sup>※</sup>と東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップに基づき、有明海の海域環境の保全と地域活性化等の有効的な利用に努めます。
- 人と自然が共生できる地球に優しい自然豊かなまちづくりに努めます。

## 主要施策

- 1 ラムサール条約<sup>※</sup>に基づく海域環境および生物多様性保全に関する普及啓発活動ならびに活動拠点の整備
- 2 市内海域の保全および干潟を中心に生息する生物の生息状況に関する調査研究の実施
- 3 干潟の自然環境に関する探鳥会等の実施
- 4 肥前鹿島干潟保全利活用協議会（仮称）の体制の充実
- 5 ラムサール条約<sup>※</sup>の目的推進の取り組みと東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ<sup>※</sup>活動を通じた「ビジターセンター<sup>※</sup>」の誘致
- 6 地球温暖化防止活動として省エネに配慮した生活の推進
- 7 再生可能エネルギー<sup>※</sup>の活用研究

## 目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

（目標値年度は平成32年度）

	施策名	目標・指標等
1	ラムサール条約 <sup>※</sup> に基づく海域環境および生物多様性保全に関する普及啓発活動ならびに活動拠点の整備	（活動拠点の整備）案内看板・トイレ・駐車場の整備 平成29年度完了
2	市内海域の保全および干潟を中心に生息する生物の生息状況に関する調査研究の実施	平成32年度まで5年間
5	ラムサール条約 <sup>※</sup> の目的推進の取り組みと東アジア・オーストラリア地域フライウェイ・パートナーシップ <sup>※</sup> 活動を通じた「ビジターセンター <sup>※</sup> 」の誘致	平成32年度

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

# 4 伝統的町並みおよび集落の保存と活用

## 施策の展開方向

- 重要伝統的建造物群保存地区<sup>\*</sup>に選定された浜町地区や大村方地区の景観の保存に努めます。
- 伝統的町並みに対し、火災に強いまちづくりへ向け策定した防災計画に基づき、地域住民と一体となって防災機能の充実を図ります。
- 公共施設等の整備による住環境の改善を行います。
- 空き家となった伝統的な建物を観光資源としての活用や入居者を募り定住促進を図ります。

## 主要施策

- 1 伝統的な建物などの修理・修景事業の実施
- 2 防災事業により設置したまちなみ消火栓の地域住民による操作訓練の開催および自主防災組織と連携した避難訓練の実施
- 3 道路美装化、防犯灯および案内板などの設置
- 4 伝統的な町並みや景観を活かした地域振興の推進
- 5 重要伝統的建造物群保存地区<sup>\*</sup>の玄関口として、古い駅舎を活用した肥前浜駅駅舎、駅前広場の整備
- 6 保存修理事業で修理を行った建物を中心に、空き家になっている伝統的建物への入居促進

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、\*マークは用語解説に説明あり。

## 目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
1	伝統的な建物などの修理・修景事業の実施	25件の修理・修景
2	防災事業により設置したまちなみ消火栓の地域住民による操作訓練の開催および自主防災組織と連携した避難訓練の実施	年1回以上の開催
3	道路美装化、防犯灯および案内板などの設置	平成32年度完了
5	重要伝統的建造物群保存地区※の玄関口として、古い駅舎を活用した肥前浜駅駅舎、駅前広場の整備	平成32年度完了
6	保存修理事業で修理を行った建物を中心に、空き家になっている伝統的建物への入居促進	5年間で10戸の入居



浜中町八本木宿



浜庄津町浜金屋町

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、※マークは用語解説に説明あり。

# 5 安全・安心

## 施策の展開方向

- 地域防災計画に基づき、適切な防災対策に努めます。<sup>①</sup>
- 鹿島新世紀センターと防災情報伝達システムを核とした防災体制の強化に努めます。<sup>\*</sup>
- 防災・減災を目的とした組織体制および各種機能の強化に努めます。
- 地域の安全安心を支える消防団の体制強化・環境整備に努めます。
- 交通安全や防犯など暮らしの中の安全安心に努めます。

## 主要施策

- 1 河川改修事業の促進
- 2 急傾斜地崩壊防止事業の推進
- 3 治山・砂防事業の推進
- 4 都市雨水排水施設の長寿命化計画の策定および整備・更新
- 5 行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化
  - ①防災知識向上(自助)のための防災マップ作成・配布
  - ②指定緊急避難場所・指定避難所への看板設置や看板等への標高表示
  - ③自主防災組織(共助)の活動支援
- 6 防災情報伝達システムの整備・推進
- 7 防災・消防に関する各機関の連携維持・強化
  - ①近隣自治体等との連携維持
  - ②鹿島新世紀センター<sup>\*</sup>を活用した県と市の連携強化
  - ③防災に関する機関との連携強化
- 8 消防団活動の環境整備
  - ①消防団体制の充実・強化
  - ②消防施設・装備の充実
- 9 交通安全意識の高揚
- 10 犯罪が起きにくい地域づくり
- 11 老朽危険空き家の対応

■文中①マークは資料編個別計画の概要に、\*マークは用語解説に説明あり。

## 目標を定めて5年間で集中して取り組む施策

(目標値年度は平成32年度)

	施策名	目標・指標等
4	都市雨水排水施設の長寿命化計画の策定および整備・更新	平成28年度計画策定 平成29年度より整備・更新実施
5	行政と住民が一体となった防災・減災体制の強化 ①防災知識向上(自助)のための防災マップ作成・配布  ②指定緊急避難場所・指定避難所への看板設置や看板等への標高表示	次の内容を記載したマップを全世帯に配布 ・防災に関する基本的な知識 ・防災気象情報等の収集方法 ・洪水・土砂災害・高潮のハザードマップ ・応急手当の方法 など  ・指定緊急避難場所35か所(うち指定避難所を兼ねる施設25か所)に看板を設置 ・平野部および海岸付近の緊急避難場所の看板および観光案内看板等に標高を表示
6	防災情報伝達システムの整備・推進	平成28年度完了



鹿島新世紀センター完成予想図